

(1)保存地区の概要

地区名	丹波篠山市 篠山(たんばささやまし ささやま)	丹波篠山市 福住(たんばささやまし ふくすみ)
種別	城下町	宿場町・農村集落
面積	約40.2ヘクタール	約25.2ヘクタール
選定年月日	平成16(2004)年12月10日	平成24(2012)年12月28日
特徴	「篠山城下町に今も息づく武家と商家の町並み」 篠山城下町は、慶長14(1609)年の篠山城築城とともに整備され、明治以降も多紀郡(現在の丹波篠山市)の商業の中心として栄えた。篠山城を中心に武家町、商家町など城下町の町割がよく残る。史跡に指定されている篠山城跡、茅葺の武家住宅群、江戸時代から昭和戦前期にかけての妻入りを主体とした特徴的な町家が密集する商家群、要所に配置された寺院など城下町の面影を今に伝えている。	「豊かな緑に包まれた西京街道の宿場と農村」 福住地区は、丹波篠山市東部、京都・大阪府との府県境に位置し、古代から交通の要衝であり、江戸時代には篠山藩が西京街道の宿場町として整備し、明治以降も多紀郡東部の中心として栄えた。妻入りを主体としたつし二階建瓦葺の町家が建ち並ぶ宿場町の町並みと、平屋建茅葺の農家住宅が立ち並ぶ農村集落という二つの異なる町並みが、西京街道沿いに連続して残されていることが特徴で、周囲の田園風景と一体となって、良好な景観を創出している。



城下町(武家町)



城下町(商家町)



宿場町



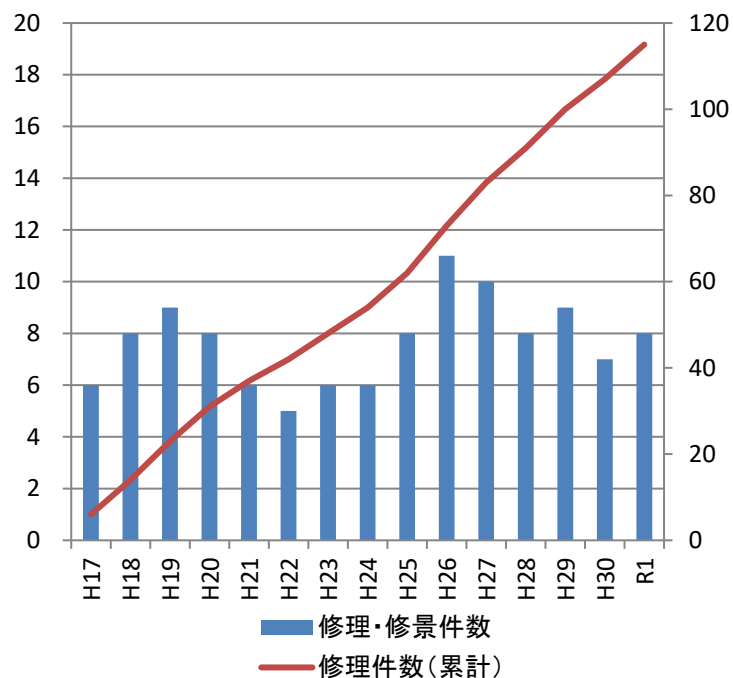
農村集落

(2)保存地区のあゆみ

昭和46(1971)年	兵庫県教育委員会による町並み調査(篠山地区)
昭和50(1975)年	篠山地区 伝建的建造物群保存対策調査
平成5(1993)年	兵庫県景観形成地区指定(篠山城下町地区)
平成7(1995)年	武家屋敷安間家史料館開館、街なみ環境整備事業開始(篠山地区)
平成11(1999)年	多紀郡4町合併 篠山市の誕生
平成13(2001)年	篠山地区 保存対策調査再調査(～H14年度)
平成14(2002)年	御徒士町通り(篠山地区)街路整備
平成15(2003)年	篠山市伝統的建造物群保存地区保存条例制定
平成16(2004)年	篠山まちなみ保存会発足、篠山地区 重要伝統的建造物群保存地区選定
平成17(2005)年	修理修景事業開始(篠山地区)、NPOによる古民家再生プロジェクト開始
平成19(2007)年	福住地区保存対策調査(～H20年度)
平成20(2008)年	篠山地区防災計画策定、丹波篠山まちなみアートフェスティバル開催
平成21(2009)年	文化庁長官表彰(文化芸術創造都市部門)、丹波篠山築城400年祭
平成22(2010)年	ササヤマルシェ開催
平成23(2011)年	篠山市歴史文化基本構想策定、篠山市景観条例制定
平成24(2012)年	福住地区 重要伝統的建造物群保存地区選定
平成25(2013)年	福住地区 修理修景事業開始
平成26(2014)年	福住地区 防災計画策定
平成27(2015)年	日本遺産認定(「丹波篠山 デカンショ節一民謡に乗せて歌い継ぐふるさとの記憶」)
平成29(2017)年	福住地区 篠山市景観条例による歴史地区に指定
令和元(2019)年	市名を「丹波篠山市」に変更
令和3(2021)年	河原町通り(篠山地区)無電柱化

(3)保存地区の保存と整備

- ・篠山地区では平成17年から福住地区では平成25年から伝統的建造物等の修理修景事業を実施しており、歴史的な町並み景観の向上が着実に進んでいる。



- ・御徒士町通、河原町通では街路整備を実施し、無電柱化をおこない、通りの景観が向上した。
- ・説明板の整備や誰でも初期消火に対応できるようにまちかど消火器の設置なども行っている。



修理前



修理後(篠山地区)



修理前



修理後(福住地区)



無電柱化前



無電柱化後(篠山地区)



説明板



まちかど消火器

(3)保存地区の活用とまちづくり

- ・伝統的建造物の修理・修景の進展に伴い、伝統建造物を活用したイベントが増加している。
- ・伝統的建造物の空き家への移住、店舗等への活用などが増えている。
- ・平成23年の丹波篠山市歴史文化基本構想の策定以降、住民主体のまちづくり取り組みが市内全域に広がり、平成27・29年の日本遺産認定にもつながっている。



まちなみアートフェスティバル



ササヤマルシェ



住吉神社ピアテラス



丹波篠山ひなまつり



古民家カフェ



古民家ホテル

(4)住民等の取り組み

- ・篠山地区、福住地区にそれぞれまちなみ保存会が発足し、毎月理事会を開催し、町並み保存活動に主体的に取り組んでいる。
- ・篠山地区、福住地区ともに伝統的な祭礼が継承されており、コミュニティの維持に寄与している。
- ・NPOによる古民家再生ボランティアの取り組みや、地域おこし協力隊を中心に、学生と連携した取り組みなど、保存活動の広がりを見せている。



まちなみ保存会



防災訓練



住民による竹林整備



NPOによる古民家再生



水無月祭(福住地区)



竹を活用したバス停修景